

矢作川 川づくり計画検討会（第2回）

○矢作川川づくり計画検討会

- ・河川整備計画と実施設計の間をつなぐものとして、特に河川利用・環境のあり方をとりまとめたものを『川づくり計画基本設計』としてとりまとめる。
- ・それらを取りまとめる上で、矢作川上流圏域の現状と課題を関係者間で共有し、各区間の**目指す姿**、**矢作川らしい川づくり**について、意見交換を行うことを目的とする。

会議概要

- 日時 令和3年7月5日(月) 14時～16時
- 場所 愛知県豊田加茂建設事務所
- 参加者
 - 【メンバー】
 - 矢作川漁業協同組合、(社)クリアウォータープロジェクト、中部電力(株)
 - 愛知県建設局河川課、愛知県豊田加茂建設事務所
 - 豊田市建設部河川課、豊田市矢作川研究所
 - 【オブザーバー】
 - 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所、愛知県環境局自然環境課

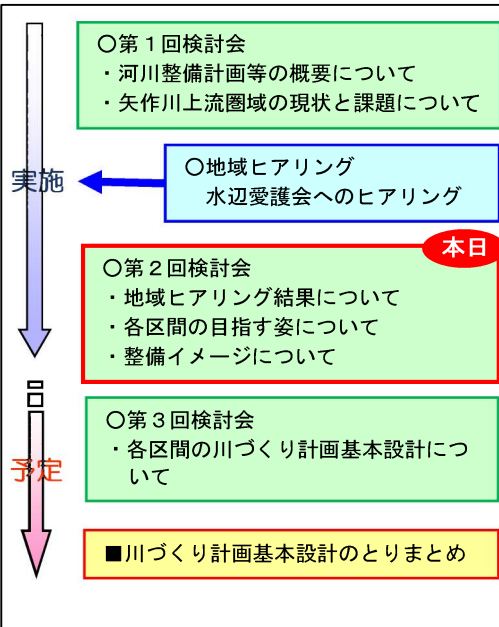
状況写真

< 会議状況 >



検討会議での主な議題

《川づくり計画検討の進め方》



《目指す姿と主な整備メニュー》

矢作川上流圏域の目指す姿

- ①在来動植物に配慮した多様な水辺環境
- ①-1 瀬・淵の再生
 - ①-2 河床固定化の緩和

主な整備メニュー
分散型石組み帯工、石組み水制工、河床耕運、高水敷の切り下げ、緩傾斜の掘削など

- ②川の見える景観
- ②-1 治水・環境・利用・景観のバランスを考慮した樹木伐採

主な整備メニュー
皆伐、間伐、地域連携による維持管理

- ③流域の人々に親しまれる川
- ③-1 周辺環境と調和した河川整備
 - ③-2 川とふれあえる場の維持・形成

主な整備メニュー
史跡等の保全、景観に配慮したパラベットデザイン検討、上下流の利用を考慮した高水敷整備、水辺へのアクセスの維持

《整備イメージ》



《検討会での主な意見》

- ・目指す姿は良いが、個別箇所の水制工や帯工の配置は現在の河川の水衝部、淵、瀬、砂州の位置を踏まえる必要がある。
- ・ソフト対策メニューを加えると良い。